

2021年10月4日(月)

旧東海道ブラ歩き(9) 小田原―湯本、甘酒茶屋―芦ノ湖

家内が目の手術をしたため9月1ヶ月を休み、本日久しぶりの旧東海道ブラ歩きを断行。8月25日に大磯―小田原間を歩き、7月24日には湯本―甘酒茶屋を走破していたので、今日は先ず小田原―湯本を歩き、湯本からバスで甘酒茶屋に向かい、ここから箱根関所まで歩いて帰宅した。朝6時過ぎに出て夕方6時半に帰宅したので丁度12時間の旅。行きも帰りも横須賀線、東海道線、箱根登山鉄道のバスを利用した。偶々今日は53回目の結婚記念日だった(箱根に着いてから思い出した)ので良い記念となった。これで1月21日に日本橋を出発して漸く箱根まで歩いたことになる。吉田兄の日本及び世界を股にかけた街道歩きの刺激のお陰で思ってもみないことが実現し、今では家内との共通の趣味になりかけている。

今日の歩数は25000歩。はじめは10月7―8日の2日間を利用して初日は芦ノ湖まで歩いて箱根ホテルに泊まり、翌日三島を目指すことにしていたが、8日(金)の天気が怪しいとのことだったので、本日取り急ぎ箱根まで歩いた次第。明日三島まで歩くと翌日のオーケストラの練習に差し支えるのでこちらは次回回しにした。

小田原に8時過ぎに到着し地図を頼りに歩き出す。先ず向かったのが軽便鉄道小田原駅の跡、軽便鉄道は線路の上の客車を人力で動かすというもので、ごく最近読んだ漱石の最後の未完の小説「明暗」にも登場するので見に行った次第。少し道に迷ったが8時35分目的地到着。しかし石碑が寂しく建っていてその横に短い説明書きがあるだけだった(写真1)。ところがその近くに山県有朋が古希になって建てた古希庵、更に松永安左エ門が隠居した旧宅(写真2)、それに初代三井物産の社長を務めた益田孝もその辺りに1万坪ほどの土地と住居を有していたとのことで、寄り道をして入り口まで見に行った。松永邸は写真の建物は新しいと思うが、横から覗くと和風の住居があり、同氏の骨董趣味もあって中はさぞ素晴らしいのではないかと想像した。開館時間前の訪問だったので外から同氏を偲んだ。

この後は専ら湯本に向けて歩く。途中旧道と国道1号線を間違えるなどしたが、この途中で遙かに双子山がくっきり見えたのは嬉しかった(写真3)。学生時代にViolinの先生が双子山の麓に別荘をお持ちで、皆で楽器を抱えて庭で合奏し、時には双子山にも登った思い出がある。そうこうするうちに山崎の古戦場(幕末の官軍と幕府軍の争い)を過ぎ湯本の三枚橋を渡り、10時41分のバスにて前回リタイアした甘酒茶屋に向かい、11時15分頃到着。ここで甘酒と力餅を腹に入れて愈々芦ノ湖に向けての最後の難所の走破にかかる。3日前の雨の影響で石畳の足場が極めて滑りやすくなっており、持参した杖と手袋で武装して歩き出す。途中で後ろから来た我々より若い夫婦や若い人に抜かれるが、焦らず騒がず転んで怪

我をしないことを第 1 義として亀の歩みを続ける。途中から道は下りとなる。この辺りで行き会った二人連れの女性に写真を撮って貰う（写真 4）。見通しは全く開けない。途中家内の足がつったので暫時休憩を取る。なお、脱水症状防止のための塩と飲み物、足のつりを防止する砂糖、蜂除けの噴射装置など準備は万全。そうこうするうち 13 時半に愈々芦ノ湖が眼前に拡がった。甘酒茶屋からここまで 40 分とあったが、我々は 1 時間 40 分かかったことになる。年齢を考えるとやむなしか。すぐ側に成川美術館がありそこには喫茶室もあるとあったのでそちらを目当てに立ち寄る。絵を見る前に真っ先に喫茶室に飛び込んだがそこからの景色はまれに見る絶景である。これまで山のホテル、箱根ホテルなどからの景色は堪能してきたが、この喫茶室からの展望はそれを遙かに上回る。おまけに一時的だが富士山も見えた（写真 5）。家内が次々と写真を家族に送っていたが、写真 6 について息子の嫁からジパングクラブのポスターみたいとのコメントが入る。ここで一休みした後偶々やっていた堀文子展を見る。この人は 100 才で亡くなっただけで、南米やエジプトなど世界中を歩き回り、80 を過ぎてからエベレストにポピーを見に行くという具合で非常に活発な活動家だが、写真を見ると気品がある。絵も大変いい。この美術館は成川という株で大儲けした人が個人で収集した絵画等を展示するために建てたものと言うことで、最高の立地で隅々まで贅沢に出来ている。展望室を見るだけでも一度訪れる価値がある場所を発見して家内共々結婚記念日に大変良い景色を見、良い絵を見たというのでご機嫌になった。

15 時半頃そこを出て杉並木の旧街道を歩き、関所を通り越して箱根ホテルの先の箱根町のバス停に来たところ 15 時 53 分発の小田原行きバスがあるというのでそれに乗って小田原経由帰宅した。次回は天気を良く見た上で、前日に箱根ホテルに一泊し翌日 1 日かけて三島まで歩いてみるつもりである。



写真 1 軽便鉄道小田原駅跡

写真 2 松永安左エ門旧邸



写真3 風祭りの辺りから双子山を望む



写真4 箱根峠への最後の踏ん張り



写真5 成川美術館喫茶室の展望



写真6 同左 ジパングクラブの広告？